

# 産業建設常任委員会審査・先進地視察報告

## 産業建設

### 自転車収納施設整備 決まる

一般会計補正予算・条例について審査を行い原案の通り可決としました。

#### 主な歳入

【国庫補助金】

5千585万円

【県補助金】

200万円

#### 主な歳出

【畜産業費】

70万円

全国和牛能力共進会出品  
対策事業補助金。

【観光費】

445万円

自転車購入と、それに伴う観光ルート開発事業費。

#### 現地視察

- ①金言寺大銀杏の観光資源整備箇所
- ②要害山交流拠点施設
- ③県道木次横田線（亀嵩スタレ地区）
- ④奥出雲田園倶楽部施設

## 視察報告

市の農業振興策  
稲わらコントラクター  
について  
大分県宇佐市

今回の視察は、本町での福島原発放射性セシウム汚染稲わらの納入問題を受け、北九州での稲わら飼料の集荷生産や、流通状況を視察するために、大分県稲わらコントラクター農家や、福岡県全農稲わら工場を訪問いたしました。

次に稲わらコントラクター

農家を視察し、繁殖経営から飼料作物の収穫部分を分離独立した法人化であり、稲わら飼料を県内に流通・販売し広域的な需給体制を構築しています。

飼料イネホールクロップ

サイレーシ事業の特色は、飼料イネ栽培農家と、コントラクター、更には消費者の酪農家を斡旋し、飼料供給し、代金決済は酪農家の乳代金からの天引きとし、きわめて効率的な運営をされています。

た。

次にこのコントラクターの稲わら飼料の需給体系は県内で完結されており、県外への搬出はトラック輸送費（大型トラック運賃5万円別途）の関係でどうしても割高になるとのことでした。

#### 全農・新稲わら工場について

福岡県大木町にある全農の子会社「JA北九州くみあい飼料株式会社」が運営する北九州稲わら生産工場を視察しました。こ

の工場は、全農の国産稲わらの集荷・梱包、流通施設であり、平成22年10月に完成し、本年より生産稼働しています。製造能力は14t/日。現在は7t/日の状況です。

仕入れ原材料である稲わら仕入価格は、農家の圃場渡しで24円/kg、工場持込の場合は27円/kgであり、いずれも個別検査の上、水分が25%未満の稲わらのみが仕入れ対象になっている。

雲南圏域、奥出雲町に

おいて畜産農家が九州産稲わらを仕入れできるか、稲わらの経費コストや、生産現場を直接知ることでありました。

仕入れコスト

については、乾燥度合など稲わらの品質差異もありますが、大分稲わらコントラクターの価格

は32円/kg、福岡県全農工場では50円/kgであり、これに輸送費が付加され、島根県など立地が遠くなるほど割高になります。

地産地消、耕畜連携といった視点からは、町内、あるいは雲南圏域など、地元での需給を完結することが望まれます。仕入材料になる稲わらの生産農家の選定、情報の共有など農機具購入補助など、行政の助成・協力が課題であります。

